

# 經濟產業省配布資料

# 経済産業省における輸出対策（マーケットインの発想に立った支援）

- 経済産業省では、マーケットインの発想に立ち、JETROなどを通じ、海外マーケット情報の提供、商品の開発・ブランド化支援、販路開拓支援などを実施している。

情報提供

産地  
情報提供

情報提供

海外マーケット情報の提供

商品の開発・ブランド化

販路開拓

## ① 専門家による「伴走型」支援

- ・ 新輸出大国コンソーシアム（事務局：JETRO）を通じて、これまで農林水産物・食品会社1,675社を支援（全体の支援件数の約2割）。

## ② 農林水産物・食品輸出専用の 相談窓口・ポータルサイトの設置

- ・ 農林水産省と連携し、JETROに設置。
- ・ 相談窓口では年間13,367件の相談を受付（2019年度実績）。

## ③ 中小企業への商品開発やブランド化 支援

- ・ 海外展開のための商品開発やブランド化に取り組む中小企業に対して経費を一部補助（JAPANブランド育成支援等事業）。
- ・ 年間で農林水産物・食品77案件を支援（全体支援件数の約4割）。

## ④ 海外の電子商取引サイトへの出展 支援

- ・ 海外電子商取引サイトに「ジャパンモール」を設置（越境EC利活用促進事業）。
- ・ 年間で農林水産物・食品2,013品目を販売（全体販売品目の約7割）。

## ⑤ JFOODOによるプロモーション

- ・ 農林水産省と連携し、和牛、水産物、緑茶など重点7品目についてプロモーション活動を実施。

# (参考) 海外マーケット情報の提供

- ジェトロでは、世界55カ国76事務所のネットワークを活用し、最新の規制・マーケット情報に関する調査を実施し提供。
- 農林水産省と連携し、輸出先国の規制・制度、現地マーケットの情報等について相談対応やポータル整備を実施。

## ① 農林水産物・食品輸出相談窓口

- 輸入規制や輸出にあたっての手續等についての相談に対応 (2019年度：13,367件)。

## ② 農林水産物・食品の輸出支援ポータル

- 輸出先国の規制・制度、現地マーケット、イベント等の情報を提供
- 支援策を調べるページや品目・国別に輸入続きや規制を調べるページを整備



農林水産物・食品の輸出支援ポータル



## ③ レポート

- 各国の食品市場の概況、販売チャネルの変化、規制等について、レポートを提供。



### ハラール

- イスラム諸国の関連制度・市場を調査。
- イスラム市場の概要やハラール対応方法についてまとめたガイドブックを公表。



### 米国食品安全強化法への対応支援

- 米国に輸出する日本の中小食品メーカーは、輸入業者の安全検証 (FSVP) に備える必要。
- ガイドを作成した普及・啓発、相談対応を実施。

## (参考) 商品開発・ブランド化支援事例

### 新輸出大国コンソーシアム

- JETRO、金融機関、商工会などが参加する新輸出大国コンソーシアムにおいて、海外展開を図る中堅・中小企業等に対して、計画の策定から、海外のルールへの適合やバイヤーへの売り込みまでを専門家が一貫して指導。

市場トレンドを調査・分析して商品開発・改良をはじめとする販売戦略策定を支援した事例

### 株式会社落合酒造場

2018年から米国向けにジンジャー焼酎「RIHEI GINGER」の輸出に成功。

#### 【支援内容】

- 専門家がSWOT分析を行い、支援企業の強みの洗い出しと、差別化ポイントの明確化、事業戦略作りを支援。
- 競合の少ない蒸留酒でハイクラスのバーをターゲットとする。
- 商品コンセプトの作成、輸入会社との交渉、規制対応等について支援。

#### 【展開国・地域】

2018年 米国、2020年 イタリア

米国市場向けにラベルなしのデザイン「RIHEI GINGER」のボトル



### JAPANブランド育成支援等事業

- 海外展開のために、新商品の開発やブランディングに取り組む中小企業への経費の一部補助を実施。
- 新しい商流（EC・クラウドファンディング等）を活用し、マーケットニーズを踏まえた事業について重点的に支援。

現地の消費者の味覚に合わせた商品開発の事例

### 中野BC株式会社

2014年からドイツ向けに「紀州南高梅」を使った梅酒や梅エキスの輸出に成功。

高級梅「紀州南高梅」の産地である和歌山県の企業が連携し、「梅」の魅力を総合的に海外へ発信。海外展示会の出展による新規販路開拓やWEBサイトの多言語化による広報、商標の国際登録等を積極的に行いブランド化を推進。

ドイツの「Restaurant Nagaya」等の有名レストランでの採用や高級小売店への販路開拓に成功し、**2014年度から2019年度までの売上累計は約3億2千万円を計上**。



# (参考) 販路開拓支援事例

## 越境EC利活用促進事業

- 海外の電子商取引サイトに「ジャパンモール」を設置することで、日本商品の販売支援。
- 売上データから消費者の求める商品をデータで把握し、バイヤーに提案することで、さらなる売上の拡大を図る。

### コロナによる「巣ごもり消費」の増加を踏まえ 電子商取引サイト上の売上の拡大を支援した事例



英国の食品サイト。英国の人口カバー率70%。年間売上2,500億円

### 日本の食品のページを初製作、8ヶ月で5.5億円を売上



乾麺（うどん、そば、ラーメン）、調味料（ごま、ごま油など）、梅酒などが売上上位

### 消費動向を踏まえたジェトロの対応により、売上が拡大した事例

ケース ジャパンモール内での麺類の取扱い



・ジェトロにて、コロナ禍の「巣ごもり消費」で麺類などの消費が伸びるという消費動向の変化をいち早く捕捉・分析。  
・ジェトロからOCADOに対し、麺類の取扱いを拡大するよう提案したところ、ジャパンモールでの売上が約2倍となった。

## JFOODO

- 農林水産物・食品のプロモーションを担う、「日本食品海外プロモーションセンター（JFOODO）」（農水省と経産省で予算措置し、ジェトロ内に設置）で重点品目のプロモーション活動を実施。
- 日本の農林水産物・食品のブランド構築を図るため、水産物、日本酒をはじめ7品目のプロモーション等に取り組んでいる。

### プロモーション活動を通じて、現地需要を創り出した事例

ブリ（ハマチ）、ホタテ、タイを「縁起物」として紹介。広告、PRイベント、店頭販促等によるプロモーションを実施。プロモーション実施の月には、香港向け対象3魚種輸出実績（金額）は前年同月比で、ブリ（ハマチ）139%、ホタテ120%、タイ159%。



香港での屋外広告

### 重点品目と展開エリア

品目	展開エリア
	令和2年度
和牛	台湾・米国
水産物 (ブリ/ハマチ、ホタテ、タイ)	香港・台湾
日本産緑茶	米国
米粉	米国・仏国・ドイツ
日本産酒類 - 日本酒	英国・米国・仏国・シンガポール・香港・中国
- 日本ワイン	英国・香港
- クラフトビール	米国 (LA)